

ネイティブ・シュードモナス属カルボキシペプチダーゼ G

Cat. No. NATE-0102

Lot. No. (See product label)

はじめに

□明 カルボキシペプチダーゼ G は、リソソームに存在するチオール依存性プロテアーゼであり、γ-グルタミルベテロイルポリ-γ-グルタミン酸を段階的に切断してベテロイル-α-グルタミン酸（葉酸）と遊離グルタミン酸を生成します。この酵素はγ-グルタミル結合に□して非常に特異的であると考えられていますが、離脱基のC末端アミノ酸には特異的ではありません。1 このホモ二量体の分子量は約90 kDaです。この酵素はZn²⁺イオンによって活性化されます。

用途 Pseudomonas sp. 由来のカルボキシペプチダーゼ G、または γ-グルタミルヒドロラーゼは、P-450cam (シトクロム m) ヒドロキシ化におけるプチダレドキシンの COOH-末端の役割を評価する研究に使用されました。Pseudomonas sp. 由来のカルボキシペプチダーゼ G は、肺腺癌細胞における NO-cGMP シグナル伝達を介したベメトレキセドの細胞毒性に□する一酸化窒素の影響を調□する研究にも使用されました。

別名 γ-グルタミルヒドロラーゼ; EC 3.4.17.11; 9074-87-7; グルタミン酸カルボキシペプチダーゼ; カルボキシペプチダーゼ G; カルボキシペプチダーゼ G1; カルボキシペプチダーゼ G2; グルタミルカルボキシペプチダーゼ; N-プテロイル-L-グルタミン酸ヒドロラーゼ

製品情報

由来	シュードモナス属
形態	凍結乾燥粉末には酢酸ナトリウム塩が含まれています。
EC番号	EC 3.4.17.11
CAS登録番号	9074-87-7
活性	> 3 ユニット / mg タンパク質
組成	タンパク質、約70% ビウレット
単位定義	1ユニットは、30°CでpH 7.3の条件下で、(+)-アメトホテルから1.0μモルのL-グルタミン酸を1分あたり加水分解します。

保管・発送情報

保存方法 -20°C